

取扱説明書

ねじ込み形ストップ弁

LPI

ねじ込み形アングル弁

LPL

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用に際しては、高圧ガス保安法を遵守するほか、本取扱説明書を良くお読みになり内容を理解された上で本機器をご使用下さいますようお願い致します。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

説明文の前やイラストに付したマークの指示と内容は次のようになっております。
内容を良く理解してから本文をお読みください

		この記号は、「禁止」の行為であることを告げるものです。
		この記号は、「注意」を表し、この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及びガス漏れによる火災発生などの物的傷害の発生が想定される内容を示します。

目次

1. 概要	3
2. 製品名	3
3. 使用範囲	3
4. 構造と特長	3
5. 運搬および保管	3
6. 取付要領	4
7. 取扱上の注意	4
8. 点検及び保守	4
9. 保証期間	4
10. アフターサービスについて	4
11. 構造図	5
11.1 LPI	5
11.2 LPL	5

1. 概要

本製品は、主に LP ガス配管弁、止弁、また圧力計などの元弁として広範囲に使用できます。ストレート形とアングル形の 2 種類がございます。

2. 製品名

品名	ねじ込み形ストップ弁	ねじ込み形アングル弁
型式	LPI	LPL
図面番号	B-18187	B-18193

3. 使用範囲

取付前に必ず次の仕様を確認の上ご使用ください。

- (1) 使用流体 LPG、一般高圧ガス
- (2) 設計圧力 2.4MPa
- (3) 設計温度 -10 ～ 70℃
- (4) 耐圧試験圧力 3.9MPa
- (5) 気密試験圧力 2.4MPa
- (6) 接続仕様 JIS B 0203 管用テーパーねじ
- (7) 本体材質 C3771B

 注 1) これは標準仕様です。仕様機器が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様および製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

 注 2) 毒性を有する流体に関しては、使用できません。

4. 構造と特長

- (1) 本体には耐食性に優れた黄銅材を使用しております。
- (2) バルブの開閉方向は、ハンドルにも表示しておりますが、開は反時計り、閉は時計回りです。
- (3) グランド部は O-リングを二重にし、外部への漏れを防止しております。

5. 運搬および保管

-  (1) バルブを落とす、投げるなどの乱暴な取扱で強い衝撃を与えないでください。漏れ、故障の原因となります。
-  (2) 運搬および保管は荷姿のままで、ゴミ、ほこり、雨などがかからないようにしてください。
-  (3) バルブフランジのパッキン座面には、フランジガードが貼ってありますが、砂、ゴミ等が入ると漏れ及び故障の原因となりますので、取り付け直前まで取り外さないでください。また、取り付けの際は必ず取り外してください。

6. 取付要領

-  (1) 配管のバルブ取り付けねじ、ならびにバルブのねじ部を清浄にしてください。特にねじ部にキズ、打痕などがある場合、ねじのかじりやガス漏れの原因になります。
- (2) 管接続のシーリング剤は使用流体に適したものを使用してください。
- (3) ねじの締め付けトルクは、シーリング剤の種類などにより一様ではありませんが、適正なトルクで漏れの無いように締め付けてください。過剰な締め付けは、ねじ部の破損、および経年後の割れの発生など、耐用年数を短くする原因になりますので、適切な長さのスパナと力で締め付けてください。この時、バルブへのスパナ掛けは、パイプなど接続側に近い角部を使用してください。なお、パイプレンチは絶対に使用しないでください。締め付ける力の目安は、バルブを配管に手で締め付けた後、1～1.5 回転のスパナ締めを標準とします。
-  (4) 配管のズレなどにより、バルブに異常な応力が加わらないようにしてください。

7. 取扱上の注意

-  (1) ハンドルを開ける場合は、全開より半開転ほど戻してご使用ください。
-  (2) 過大なトルクでの、ハンドルの開閉は避けてください。破損または機能の低下となります。
-  (3) 外部から衝撃を与えないでください。変形により接続ができなくなります。

8. 点検及び保守

設備の運転開始時、運転終了時及び運転中に次のような点検を行ってください。

- (1) 配管接続部を点検し、漏れが有る場合は配管をやり直してください。このとき、バルブのねじ部に傷、変形などがある場合は新品と交換してください。
- (2) バルブ自体の外部漏れを点検し、漏れがある場合は新品と交換してください。
- (3) ハンドルの開閉がスムーズに行えるか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。

 その他、高圧ガス保安法の適用をうけるバルブは、規定に基づき検査を実施してください。

9. 保証期間

貴社での検収完了後 18 ヶ月内または設置後 12 ヶ月内のうち、いずれか早く到来する期間内において、製造上の問題に起因する故障が判明した場合には、無償修理または交換を行います。

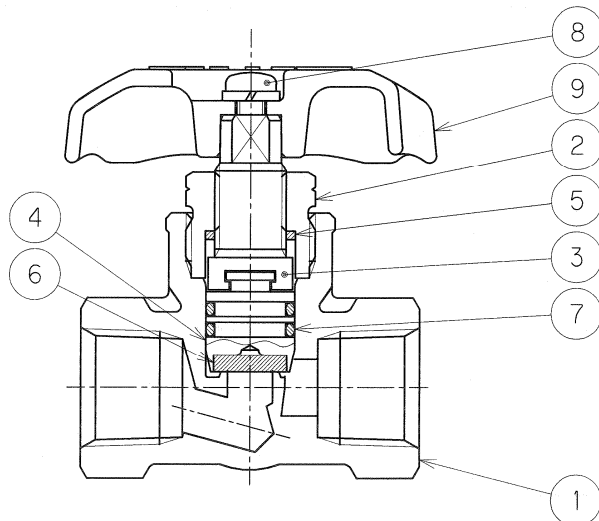
10. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

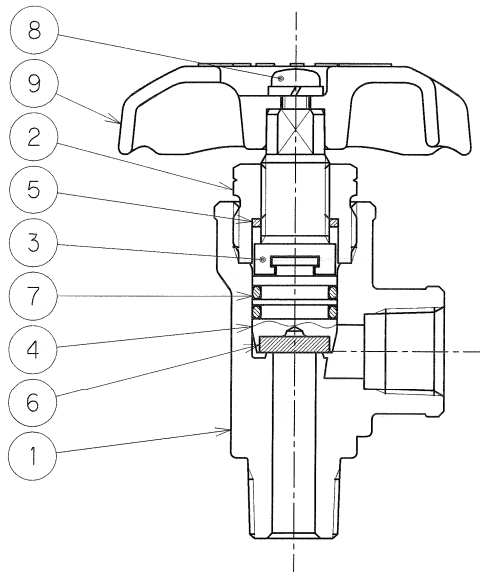
11. 構造図

11.1 LPI



9	ハンドル	ADC12	1	
8	セットスクリュー	SWRCH10R	1	
7	Oーリング	NBR	2	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

11.2 LPL



9	ハンドル	ADC12	1	
8	セットスクリュー	SWRCH10R	1	
7	Oーリング	NBR	2	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、
ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel)03-3535-5575	(Fax)03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel)055-285-0111	(Fax)055-285-7175
札幌営業所	(Tel)011-786-1110	(Fax)011-786-1120	大阪営業所	(Tel)06-6541-8711 (Fax)06-6541-8718
仙台営業所	(Tel)022-295-4670	(Fax)022-295-4671	九州営業所	(Tel)093-921-0981 (Fax)093-921-0984
東京営業所	(Tel)03-3535-5571	(Fax)03-3567-6834	広島出張所	(Tel)082-426-5002 (Fax)082-426-5003
名古屋営業所	(Tel)052-951-3860	(Fax)052-951-3862		